



Title	青柳謙二教授略年譜・主たる著作
Citation	独語独文学科研究年報, 20
Issue Date	1993-12
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/25946">https://hdl.handle.net/2115/25946</a>
Type	departmental bulletin paper
File Information	20_Nempu.pdf



## 青柳謙二教授 略年譜

- 昭和6年(1931) 2月23日 札幌市に生まれる
- 昭和22年(1947) 3月 北海道庁立札幌第一中学校4年修了
- 昭和22年(1947) 4月 北海道大学予科文類入学
- 昭和25年(1950) 3月 同 修了
- 昭和25年(1950) 4月 北海道大学文学部文学科入学
- 昭和28年(1953) 3月 同 卒業
- 昭和28年(1953) 4月 北海道大学大学院独文学専攻科入学
- 昭和30年(1955) 12月 同 退学
- 昭和31年(1956) 1月 北海道大学講師 文学部勤務(教養部ドイツ語担当)
- 昭和37年(1962) 4月 北海道大学講師 文学部勤務(独文学講座)
- 昭和39年(1964) 4月 北海道大学助教授 文学部勤務(独文学講座)  
北海学園大学教養部兼任講師(ドイツ語)(至平成4年3月)
- 昭和47年(1972) 4月 文部省在外研究員としてドイツ連邦共和国(ハイデルベルク大学)へ  
出張(48年3月帰国)
- 昭和54年(1979) 4月 北海道大学教授 文学部勤務(独文学講座)
- 平成3年(1991) 1月 北海道大学大学院委員会委員(現在に至る)
- 平成4年(1992) 4月 北海道大学文学部長(現在に至る)

\* 学会では、日本独文学会理事、北海道ドイツ文学会会長を歴任

## 主たる著作

### 論文

1. トーマス・マンとゲーテ 北海道大学外国語外国文学4 昭和31年5月
2. Über die Ironie im Schaffen und Leben Thomas Manns ドイツ文学18 昭和32年5月
3. Thomas Mann における Parodie の問題 ドイツ文学24 昭和35年5月
4. トーマス・マンの作品における『詐欺師フェーリクス・クルルの告白』の位置 北海道大学文学部紀要9 昭和36年3月
5. 物語の精神—トーマス・マンの小説概念— 北海道大学文学部紀要12 昭和39年3月
6. 「時の小説」(Zeitroman)としての『魔の山』 北海道大学文学部紀要13・1 昭和39年10月

7. Franz Kafka の作品における das perspektivische Sehen 北海道大学文学部紀要18・  
2 昭和45年3月
8. トーマス・マンの神話的思考 ドイツ文学55 昭和50年10月
9. カフカの作品における「現実」の問題—カフカ解釈をめぐる諸説— 北海道大学文学部・  
独語独文学科研究年報2 昭和51年1月
10. カフカの“Zeit-Roman”—カフカの時間概念と作品の Zeitgestaltung 北海道大学文学部・  
独語独文学科研究年報5 昭和54年2月
11. カフカの譬え話 『ドイツ文学論集—小栗浩教授退官記念—』所収、東洋出版 昭和59  
年1月
12. 変質する物語—カフカと新しい文学 『「魔法の角笛」ドイツ文学の森に遊ぶ』所収、北  
海道大学放送教育委員会 平成2年8月

#### 翻 訳

1. クラウス・マン著『危機の芸術家たち』（『転回点』3） 「晶文選書」25、晶文社 昭和  
46年1月
2. ヘルマン・ヘッセ／トーマス・マン著『ヘッセ・マン往復書簡』（井出貢夫と共訳）  
「筑摩叢書」199、筑摩書房 昭和47年12月
3. ルドルフ・アレクサンダー・シュレーダー著「ゲーテの『かくし娘』」 ハンス・マイヤー  
編『ゲーテと現代』（ゲーテ全集別巻）所収、潮出版社 昭和54年12月